

道連ニュース

2009年7月号 No.37

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

道連
報告

灯油価格の適正化、北海道消費生活条例等の 学習、ユニセフ活動を当面の課題とします

2009年度第2回理事会を開催

当会は7月16日に第2回理事会を開催し、当面の活動の課題と進め方などを承認しました。また、日本生協連北海道・東北地連・藤本事務局長から「全国長期ビジョン策定計画、食料・農業問題の検討と討論会日程、第1四半期全国の事業概況」の報告を受け、ユニセフ北海道支部・重原祐治事務局長から「北海道のユニセフ活動の現状」について特別報告をいただきました。

理事会では中村理事（北大生協専務）を議長に選出し、会長理事の挨拶後、活動の経過（総会など機関会

議報告を含む）・第1四半期決算・くらしの相談室概況の各報告を承認、次いで議案（麻田代表理事の選任、くらしの相談室年会費など理事会議決事項、当面の活動課題と進め方）を承認して終了しました。

当面の活動課題では「灯油価格の適正化を目指して対策する」「消費者庁創設、北海道消費生活条例改正、ホクネットの適格消費者団体認証申請について学び必要な対応をする」「道内生協全体でのユニセフ活動の取組みを再構築する」の取組みを決定しました。

『もっと元気に！北海道農業』フォーラムを 開催しました。180名の組合員が参加して！

当会はコープさっぽろと共催で7月7日『もっと元気に！北海道農業』フォーラムを開催し、基調講演、パネルディスカッションを行って北海道農業を沢山の消費者で応援していくことを確認しました。当会とコープさっぽろは昨年「北海道農業応援プロジェクト」を行ない、今春には「消費者としての行動、生産

者への要望、行政への要望」についてまとめましたが、このメッセージを発信する目的で開催したものです。

当日は麻田信二酪農学園理事長（北海道生協連会長理事）が「北海道の元気は農業から」と題する基調報告をおこない、「1次産業の農業は第2次産業＝加工・第3次産業＝流通とリンクし、1×2×3＝6次産業にしていかなければならない、北海道は実現できる」と提案するとともに協同の精神が農業の持続を担保することを訴えられました。

次いで、飯澤理一郎氏（北海道大学大学院教授）を司会に生産者3名、駒谷信幸氏（駒谷農場）、余湖智氏（余湖農園）、佐久間良博氏（江別製粉常務）、行政



基調講演をする麻田信二氏



熱心に語り合われたパネルディスカッション

から東修二氏（北海道農政部長）、消費者から前濱喜代美氏（コープさっぽろ理事）、コメンテーター麻田信二氏でパネルディスカッションが行われ、パネラーからは北海道農業に芽吹いている多様な側面が語られ

ました。また、「生産者と消費者の距離が生協を介して近くなりつつあること」が語られ、逆に「元気になってほしいのは農民より道民」と励まされる1場面もあり、有意義なフォーラムとなりました。

2009年度第1回協同組合間連絡協議会事業 「情報交換会」が開催されました

7月24日、2009年度第1回の道内協同組合間連絡協議会事業・情報交換会がJ A北農ビルにおいて開催されました。出席者はJ A北海道中央会、J A全共連、J A北海道厚生連、北海道漁連、北海道信漁連、北海道共水連、北海道森林組合連、北海道生協連などから20名の役職員でした。会員生協からは北海道医療、北海道労働者共済、コープさっぽろなど6名の参加でした。

今年度は年間2回の開催を予定しており、第1回目のテーマは『対外広報』でした。最初に榊北海道フットボールクラブの斗澤広報部長から「コンサドーレ札幌の広報政策」を拝聴し、次いで「J Aグループの広報対策」（J A北海道中央会共通広報センター・鈴木副審査役）、「コープさっぽろの広報政策と対策」（コープさっぽろ・中島常務理事）と協同組合から2つの実践報告があつて、各々について質疑がされ、また、広報活動を地道に、正直に、継続して行っていくことの大切さを確認する良い交換会となりました。



報告するコープさっぽろの
中島常務



8協同組合組織が参加した
情報交換会

北海道学校生協

第53回通常総代会が開催されました

～6月26日、83名の参加で各議案が原案通り承認～

北海道学校生協の第53回通常総代会が6月26日に開催されましたが、開催宣言に先立ち、6月24日に急逝された故住友肇理事長に対し出席者全員が起立し1分間の黙祷を行いました。

当日は、100名の総代定数のところ83名（内書面議決書53名）が出席し、提案した4議案全て事務局提案どおり承認されました。

2008年度の事業活動報告では、大変厳しい経済状況の中、全体の供給高は計画比、前年比とも下回る結果となりましたが、ハウジング事業の新築斡旋では前年実績を上回ったこと等が報告されました。

2009年度の事業活動方針では、依然として厳しい

経済状況が続く中、一層多様化している組合員のニーズに応えるために、自主供給事業を中心に、ハウジング事業、サービス関連事業やホームページによる取り組みを充実・強化するとともに、新採用教職員や退職教職員に対する取り組みを強化して効率的な供給拡大をめざすこと、事業全体を厳しく見直し、不採算事業の整理縮小・撤退・廃止等、大胆な事業経営構造改革を進めていくことが提案され承認されました。

生協法が改正され2年目を迎えますが、今年度はより一層機関運営の充実を図ると共に、組合員に対する責任を意識した組織運営に努めてまいります。

お知らせ

道連ホームページに下記の活動を掲載しましたので、お知らせいたします

- 7月15日、北海道生協連とコープさっぽろは、北海道経済産業局へ灯油価格安定化に向けて灯油の要請を行いました。
- コープくらしの相談室「2008年度相談受付概況のまとめについて」
- 北大生協では、2005年度から環境に配慮した取り組みを行ない、この程「2008年度版環境報告書」を完成させ、ホームページで公開しています。
北大生協のホームページ <http://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/soumu/kankyoku/index.html>
- 7月24日、2009年度第1回協同組合間連絡協議会事業「情報交換会」を開催しました。